



ダンボールコンポストで挑戦 生ごみ減量には 堆肥化が効果的

22年度は6地区で講座

ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像（倉本和子代表）が市と協働で、4月から「コミュニティから広がる生ごみ減量大作戦」を展開中です。

本年度は、4月20日の神湊地区を皮切りに、日里、吉武、自由ヶ丘、岬、田島の6地区で講座を開催。神湊地区では主婦ら20人が参加し、会場のゆうゆうぶらざは堆肥（たいひ）づくりの熱気に包まれました。

倉本代表が、ダンボール箱（縦30×横40×高さ30センチ）に底板を敷き、カナダ産のピートモス15リットル、もみ殻くん炭10リットルの基材を入れて準備完了。その中に生ごみを入れて、分解、熟成の手順を説明します。「よくかき混ぜることです。生ごみは分解されるとほとんど気体になります。気体はダンボールを通して箱の外に出るので、ごみの量は増えませんが、生ごみの投入は3ヵ月から6ヵ月が目安。その後は1週間に1リットルの水を3回ほど繰り返して入れて乾燥させれば、無臭で良質の堆肥ができます」。

倉本代表の説明も明快。分かりやすいテキストも好評です。船越美佐子さん（50歳代・神湊）は、「受講して堆肥づくりに理解が進みました。花などを育てているので、手製の堆肥を使えば、どんな美しい花が咲くか楽しみでした」と笑顔でした。

同会は、福岡市のNPO法人循環生活研究所でダンボールコンポストを使った堆肥づくりを習得。平成18年7月から132回の講座を開き、平成22年3月末までに918世帯に堆肥づくりを指導してきました。

「エコには最適です」

濱崎欣子（よしこ）さん（60歳代・自由ヶ丘）と中村順子さん（70歳代・赤間）は、ダンボールコンポストでの堆肥づくりが縁で仲良しに。濱崎さんは、EM菌を使ったバケツ式からダンボールコンポストへの堆肥づくりに変えました。おかげで庭の花木が元気で、プランターのイチゴも真っ赤。「これからのニガウリやブロッコリーなどの野菜づくりが楽しみ」とニコリ。

「そんな難しい作業ではありません。貝殻以外は何でも堆肥の原料。虫が発生する恐れがありますが、虫も堆肥の栄養源。かわいがる気持ちで頑張ってみましょう」。

「ダンボール箱が崩れないように、雨に注意し、乾燥している場所などに移動させるなど気をつけましょう」。

中村さんも堆肥づくりの日課を楽しんでいます。「本当に栄養分が素晴らしい」と土いじりに満足。2人とも日々、情報を交換して、質の高い堆肥づくりに励んでいます。

気楽に挑戦しよう

小原薫さん（50歳代・赤間）は、ダンボールコンポストを使った堆肥づくりを始めて4年目。夫の幸男さん（60歳代）も土いじりが大好きで、平成6年に、庭付きの1階を希望してマンションに入居。約30平方メートルの庭で、手製の堆肥が庭の花木や野菜類に活力を与えています。

長男の耕一さん（21歳）が9年前、幸男さんの誕生日に贈った「カロライナジャスミン」は、花見ができるほどに黄色く咲き誇りました。プランターを使った堆肥づくりの作業そのものに喜びを感じています。

小原さんは、「ダンボールコンポストをおかげで、わが家のごみはかなり減りました。堆肥づくりに取り組むものに喜びを感じています」。

「堆肥づくりの作業そのものに喜びを感じる」という小原さん

「堆肥化推進」を市長に要望

くりが生ごみの減量化に大いに役立っている」と谷井博美市長に手紙で伝えました。谷井市長はすぐに、小原さんと倉本さんと面談。「生ごみの減量化にかなり効果がありそう。事業化など検討したい」と理解を示した谷井市長は、すぐに基材を購入、家庭菜園用の堆肥づくりを始めました。

生ごみ減量で財源確保

平成21年度の燃やすごみの組成調査では、生ごみは重量比で約44パーセントを占めていました。同年度の燃やすごみ量から計算すると、約7700トンの生ごみが含まれていることになりました。

1トン当たりの生ごみの処理費は約3万5000円。年間の生ごみの処理には約2億7000万円もかかります。そこで市では、生ごみ

「エコには最適です」

の水分を減らすため、昨年4月から1年間、葉山地区24世帯の協力で、「生ごみ水切り事業」を実施。検証の結果、市内全世帯で実践した場合、約590トンの減量が期待できることがわかりました。

これに連動して、ダンボールコンポストなどでの堆肥化が定着すれば、ごみ減量と共に大きな新財源が確保されると期待が高まるばかりです。



仲良く堆肥づくりに取り組む濱崎さん（右）と中村さん



説明を受けてダンボール箱を組み立てる参加者



堆肥づくりをユーモアを交えて説明する代表の倉本さん

問い合わせ先
ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像（倉本）
☎(32) 0730



このコーナーは、宗像子育てネットワークこねつとが運営する「こねつとのもったいないコーナー」として、無料で「子育て・教育関連用品」を「もとめる人」にゆずります。

- 〈もとめます〉 ●野ばら第2保育園体操服・スモック ●浄徳寺幼稚園制服・体操服・帽子（男児）、制服・体操服（女児） ●宗像第一幼稚園制服・体操服 ●玄海ゆりの樹幼稚園制服・体操服・帽子・かばん ●岡垣第一幼稚園制服・体操服・帽子・かばん（女児） ●ベビーベッド ●B型ベビーカー ●チャイルドシート ●水着 ●浴衣（女児） ●18～24インチ自転車 ●キーボード ●滑り台

●申込方法 ①住所②氏名③連絡先④品物名を明記して、宗像子育てネットワークこねつとへハガキ（〒811-3437/久原180/市民活動交流館内）か、同館内の受付ボックスか、ファックス＝（36）3741か、メール＝konet_munakata@yahoo.co.jpのいずれかで申し込む
*「ゆずる人」は、☎080(4317)2524での申込可。ただし、毎週月・水・金曜日（祝日を除く）の13:00～16:30

海岸を散歩しながら ごみ拾いをしてみませんか

■問い合わせ先 資源廃棄物課 ☎(36) 1421

海岸線清掃活動をする「クリーンアップむなかた」の6月までの清掃状況を紹介しします。

【6月】
▽参加人数＝70人 ▽収集量＝155袋

【これまでの合計】
▽参加人数＝6,824人 ▽収集量＝1万4,832袋

活動は毎週日曜日、午前9時から1時間
*雨天中止
【集合場所】 釣川河口両側海岸、鐘崎深浜海岸